

《10月の番組ガイド》

鳥取市広報番組

**とっとり知らせたい!**

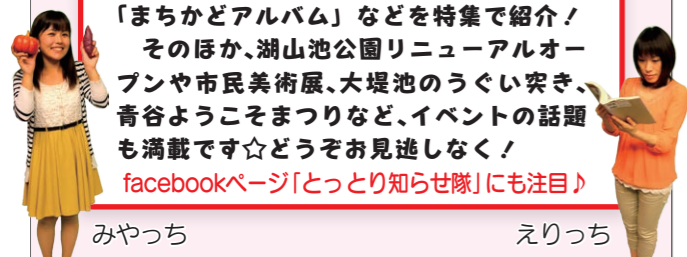
TOTTORI SHIRASETAI!

市民と行政がつながるTV「とっとり知らせたい!」。さまざまな情報をお送りしています。みなさんの知らせたい!情報も待っています。

【放送】毎週金・土

「ジオたび」「元気です」「図書館だより」「まちかどアルバム」などを特集で紹介! そのほか、湖山池公園リニューアルオープンや市民美術展、大堤池のうぐい突き、青谷ようこそまつりなど、イベントの話題も満載です☆どうぞお見逃しなく!

facebookページ「とっとり知らせ隊」にも注目!



みやっち

えりっち

静止画文字情報

「鳥取市からのお知らせ」【放送】毎週水・木・金・土

いなばぴよんぴよんネット  
自主制作番組

農業番組「いなばアグリタイム」【放送】毎週水・木

西条柿など秋の味覚の収穫や「とっとりきのご祭り」など実りの秋を祝うイベントや栽培情報などをお伝えします。

地域情報番組「とっとりウオーキング」【放送】毎週日・月

芸術や文化の秋を迎え、市内各地の公民館活動やまちづくり活動などを紹介します。

生活情報番組「ぴよんぴよんワイド」【放送】毎週火

子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話題をお届けします。

手話番組「手話でコミュニケーション」【放送】毎週日・月

ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介いたします。

122ch (第2放送)

週替わりでリクエスト番組やイベント番組を再放送。また、テレビでじゃんしゃん体操を毎日放送中!

番組の放送時間や内容はホームページまたはデジタル放送の電子番組表(EPG)をご覧ください

情報をお寄せください!

いなばぴよんぴよんネット ☎ 0857-22-6111

※ 放送予定は予告なく変更することがあります。

番組の放送時間は、ホームページでも紹介しています。

http://www.inabapyonpyon.net



イベント成功に向けて実行委員会の議論が続きます

もつと気軽にジャズを

ライブでは、演奏を聴きながら徳持さんやClaraさんが即興でライブペイントを行うなど、ジャズとアートのコラボレーションも楽しみの一つです。Claraさんは「あまりジャズを聴いたことがなかったけど、音楽を楽しむことで絵を描いている」と楽しそうに話します。ジャズがわからなくても楽しめるので、「もつと気軽に街に出て、見て、聴いて楽しんでほしい」と菊池さん、徳持さん、Clara

「鳥取JAZZ」。「これまでと違ったことをするのはなく、これまでの延長で地元の方が活躍できる場所として広げていきたい」と菊池さん。一般の人でも準備段階から関わってもらいたいと考え、現在約30人で構成する実行委員会への参加を呼びかけます。また、鳥取にも若い人がたく

「鳥取JAZZ」は、11月1日から3日まで、ライブやアート展などを開催します。また、10月18日にはプレイベントとして、ジャズ映画の上映やミニライブをパレットとつとりに行います。この機会に足を運んで、ジャズとアートの魅力に触れてみてはいかがでしょうか。



Clara.

「鳥取JAZZ」は、ジャズとアートの出会い。「鳥取JAZZ」は、ジャズとアートを柱として、中心市街地を会場に、道行く人が楽しめるジャズ・フェスティバルです。企画したのはジャズピアニストで実行委員長の菊池ひみこさん。よく「子どもにピアノを習わせたい」と保護者が訪ねて来る中、画一的な音楽教育に疑問を持っていた菊池さんは「なぜピアノなのか、音楽でもいろいろな入口があるの」と一番近い楽器である「声」や「体」をつかい、音楽の楽しみ方を知ってもらいたいと思うようになりました。

「鳥取JAZZ」は「アート展はある程度キャリアのある僕がやるのは簡単、若いアーティストを育てていかないと」と考えていました。菊池さんと相談したところ意見が一致。とあるイベントで「おもしろい絵を描く」と気になった、イラストレーターのClaraさんと一緒に活動しないかと声をかけます。

「鳥取JAZZ」は路上や店先を借りてライブを行うなど、ミュージシャンが外へ出ていく企画です。同時多発的にジャズを演奏し、お客さんが街なかを歩いて見て回ることで、これまで気づかなかった店や街の魅力、いろいろな人との出会いが生まれる。そして、若い人に来てもらうことで鳥取の街が活気にあふれる、そんなイメージを菊池さんたちは思い描きます。

菊池さんは、ゴスペルグループや合唱団の活動も行う中、自分がやりたいと思っているジャズが鳥取でできないか考えていたところ、ジャズ雑誌の表紙を描いていた鉄筋彫刻家の徳持耕一郎さんが市内に住んでいるのと知り、「ジャズの

「鳥取JAZZ」は、ジャズとアートを柱として、中心市街地を会場に、道行く人が楽しめるジャズ・フェスティバルです。企画したのはジャズピアニストで実行委員長の菊池ひみこさん。よく「子どもにピアノを習わせたい」と保護者が訪ねて来る中、画一的な音楽教育に疑問を持っていた菊池さんは「なぜピアノなのか、音楽でもいろいろな入口があるの」と一番近い楽器である「声」や「体」をつかい、音楽の楽しみ方を知ってもらいたいと思うようになりました。

「鳥取JAZZ」は「アート展はある程度キャリアのある僕がやるのは簡単、若いアーティストを育てていかないと」と考えていました。菊池さんと相談したところ意見が一致。とあるイベントで「おもしろい絵を描く」と気になった、イラストレーターClaraさんと一緒に活動しないかと声をかけます。

「鳥取JAZZ」は路上や店先を借りてライブを行うなど、ミュージシャンが外へ出ていく企画です。同時多発的にジャズを演奏し、お客さんが街なかを歩いて見て回ることで、これまで気づかなかった店や街の魅力、いろいろな人との出会いが生まれる。そして、若い人に来てもらうことで鳥取の街が活気にあふれる、そんなイメージを菊池さんたちは思い描きます。



昨年バードハットで行われた鳥取まちなかJAZZ

シリーズ **元気です**

151

**鳥取の街をJAZZ色に**  
～街がスウィングする～

**鳥取 JAZZ 実行委員会**